

## 公立大学法人秋田県立大学教員募集要項

1. 職名及び人員 准教授または助教 1名
2. 所属 木材高度加工研究所
3. 専門分野 木材の組織構造、物性、化学成分といった木材の基礎的知見を基に木材及び木質材料の生物劣化や耐久性付与に関連する研究を遂行できる能力を有し、かつ、その分野における学部、大学院教育を担当できる人材を求めます。
4. 担当講義 主に大学院の講義を担当。担当科目は採用内定者の専門等を考慮して決定します。
5. 応募資格 (1)博士の学位を有し研究上の業績を有すること  
(2)当該分野の教育と研究に熱意を持っていること、地域貢献にも意欲を持っていること  
(3)国籍は問わないが、日本語に堪能であること  
(4)採用が決定した場合、確実に着任できること
6. 採用予定日 平成31年4月1日
7. 勤務条件等 (1)身分 公立大学法人職員  
(2)給与 職位・業績・職務内容に応じた年俸制  
(3)勤務 裁量労働制  
(4)任期 5年の任期制（再任回数に制限はありません。）  
(5)定年 67歳
8. 応募書類 (1)履歴書（本学所定の様式1による。＊）  
(2)研究業績書（本学所定の様式2による。＊）研究業績は、①学術誌論文（査読付き）、②国際会議発表論文（査読付き）、③その他に分類して記載してください。また、主要なもの3編に○を付けて下さい。  
(3)准教授での応募：主要論文5編（コピー可）  
助教での応募：主要論文3編（コピー可）  
(4)これまでの研究、教育及び社会活動（地域貢献を含む。）の概要（1000字程度）  
(5)教育に対する抱負（1000字程度）  
(6)研究・地域貢献に対する抱負（1000字程度）  
(7)応募者について意見を求めることができる推薦者2名の氏名と連絡先  
(8)科研費等外部資金獲得の実績がある場合は、過去5年間における獲得状況の一覧  
注）＊印：履歴書（様式1）及び研究業績書（様式2）については、ホームページ（<http://www.akita-pu.ac.jp/gaiyo/saiyo.htm>）をご参照下さい。
9. 応募締め切り 平成30年10月31日（水）（必着）

10. 選考方法 (1) 第一次選考 提出書類審査、プレゼンテーション・面接  
(2) 第二次選考 プレゼンテーション・役員による面接  
※面接の旅費等は自己負担となります。

11. 応募書類の提出先及び問合せ先

〒016-0876 秋田県能代市字海詠坂 11-1

秋田県立大学木材高度加工研究所教員選考委員会

TEL : 0185-52-6900 FAX : 0185-52-6924

e-mail : koubo@iwt.akita-pu.ac.jp

※封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付してください。応募書類は返却しません。

12. その他

本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援・環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

(女性活躍推進行動計画 : <http://www.akita-pu.ac.jp/gaiyo/pdf/joseikatsuyaku.pdf>)

(子育て支援等行動計画 : <http://www.akita-pu.ac.jp/gaiyo/pdf/kosodate.pdf>)

## 今回の公募で求める人材像

(木材高度加工研究所 木質材料科学グループ)

木材高度加工研究所は設立以来、「地球規模の理想的な木質資源循環系の確立」という理念のもと、「秋田県の木材産業を資源依存型から技術立地型に転換するための基盤の確立」を目的として、木材の高度加工に関する研究に取り組んできました。

今回の公募においては、木材の組織構造、物性、化学成分等の基礎的知見を有して、自由な発想で木材・木質材料の生物劣化や耐久性付与に関する研究を主体的に推進するとともに、関連する分野の研究に積極的に参画し、木材高度加工研究所内外の研究者と連携してそれらの研究を推進することによって、森林・木材研究の持続的な発展・深化に寄与しうる人材を求めます。

## 木材高度加工研究所の研究グループ構成

研究所の教員は、表のような3つのグループに分かれていますが、学部のような大講座制とは所属形態が異なり、所内外の研究者や民間企業等とアドホック的なチームを形成して研究を進めております。例えばCLTのプロジェクトでは、製造を担当する研究者とそれを用いた構造の研究者とが何人か集まってチームを組みます。

今回の公募では木質材料科学の准教授または助教が対象となります。

| グループ名  | 研究テーマ   |
|--------|---|
| 木質資源利用 | 木質資源利用システムの構築<br>木質系複合材料の材料特性の解明<br>環境に配慮した木材保存処理技術の開発<br>環境影響負荷の少ない木質土木構造物の開発<br>民家の工法と生活文化<br>地域資源を活用した安心・安全のまちづくり  |
| 木質材料科学 | 長期対応型木造構法開発<br>化学加工法を用いた木質資源の有効活用<br>出土木材など木質文化財の保存処理<br>木造住宅の耐震性能向上<br>木質構造接合部・木質複合材料の開発<br>実大材破壊機構の解明<br>残廢材のリサイクル技術開発<br>低質・未利用材の機能性木質材料転換<br>木材中の水分移動動態の解明と産業応用<br>新エネルギーを利用した木材乾燥システムの開発<br>木材・木質材料と音響<br>可撓化やバネ化など、木質系新素材の開発<br>とその特性を活かした家具・内装材の開発 |
| 木質基礎機能 | 新エネルギーとしての木質バイオマス利用<br>木炭の吸着機構解明と吸着材としての利用法開発<br>森林資源の遺伝解析<br>樹木の生長・材質の変動と環境応答<br>木材の非破壊的材質評価<br>バイオマスの利用技術<br>森林系及び木質廢棄物の有効活用  |